

令和2年度第3回仙台市創エネルギー導入促進助成金交付事業審査委員会議事概要

■日時 令和2年10月12日（月）15時00分から17時10分まで

■会場 仙台市役所本庁舎2階 第3委員会室

■出席者

審査委員：4名

事務局：防災環境都市・震災復興室 室長外3名

環境部長、産業政策部長

申請者：リモート参加（途中接続・切断）

■要旨

1 開会

- 次の事項について確認した。
 - ・ 委員の過半数が出席しており、審査委員会が成立していること
 - ・ 申請事業者との事前の接触について、全委員から該当がないこと

2 議事

（1）委員会の公開・非公開等

- 仙台市情報公開条例の非開示情報に該当すると判断されることから、本委員会を非公開とすることとした。
- 委員1名を議事録署名人として選任した。

（2）申請案件に係る質疑

- 前回に引き続き、申請者とリモート接続し、各委員から次の事項について質疑がなされた。
 - ・ 排出ガス等の常時自動測定における測定結果や使用装置の種類、公表頻度等
 - ・ 施設見学受入の具体計画
 - ・ 津波避難施設としての事業所の案内方法

（3）意見交換

- 申請者とのリモート切断後、委員間で次の意見交換がなされた。
 - ・ 常時自動測定に関して、日々公表して数値が更新されれば、市民の安心に繋がるのではないかと。
 - ・ 今後、取り巻く社会状況の変化等に応じた地域貢献を行うことを意識して、事業を進めて欲しい。
 - ・ 常時測定結果の公表の実施状況や施設見学の受け入れ状況などについて、事業開始後も確認していった方がよい。

（4）申請案件の審議

- 「市域の第三者へのエネルギー供給」、「クリーンなエネルギー」、「安定的なエネルギー供給」及

び「地域の防災やまちづくりへの貢献」の4つの観点から評価を行った。

- 審査委員会としては、本件を交付対象事業として適当と判断し、環境保全や地域貢献等の観点から、更なる取り組みを促すため、附帯意見を付すこととした。

3 閉会